



学校評価アンケートの結果から

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果をまとめましたのでお知らせします。

1 回収状況

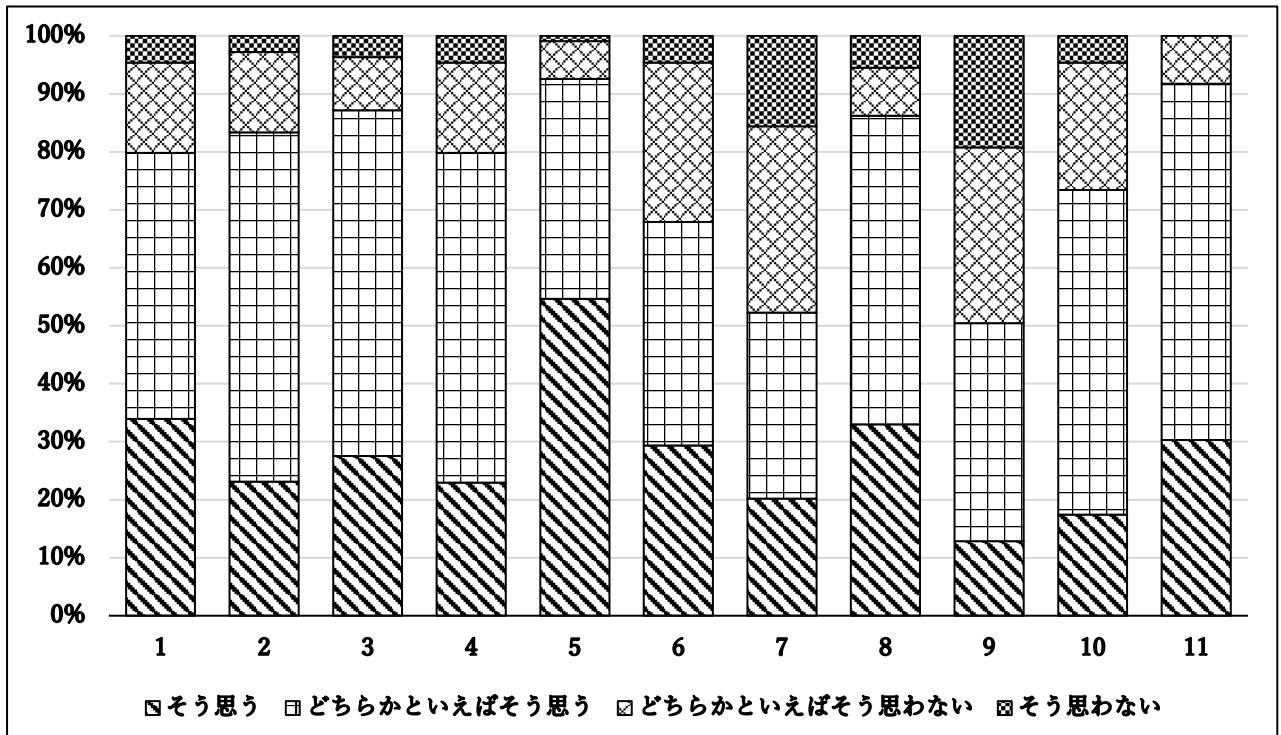
配布数 152 枚

回収数 109 枚 回収率 71.7%

2 質問項目

- 1 お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。
- 2 お子さんは、授業がわかりやすいと感じている。
- 3 学校は、全体として期待に応えてくれている。
- 4 学校は、お子さんの教育について、学校の先生に相談したり要望を伝えたりしやすい。
- 5 学校や学級の教育活動に関する情報提供（おたより等）は、役に立っている。
- 6 お子さんは、家庭で、親が言わなくても自分から進んで勉強をしている。
- 7 お子さんは、家庭で、よく本を読んでいる。
- 8 お子さんは、家庭で、学校での出来事や友だちのことについて話をする。
- 9 お子さんは、家庭で、自分の将来や進路についての話をする。
- 10 お子さんは、場に応じてきちんと挨拶ができる。
- 11 家庭では、お子さんのよいところを褒めるなどして、自信を持たせるようにしている。

3 回答結果



4 結果から

令和2年度のアンケートで、肯定的回答（そう思う、どちらかといえば、そう思う）80%未満の質問項目は以下の4つでした。

質問事項6 お子さんは、家庭で、親が言わなくても自分から進んで勉強をしている。

肯定的回答 68%

質問事項7 お子さんは、家庭で、よく本を読んでいる。

肯定的回答 52%

質問事項9 お子さんは、家庭で、自分の将来や進路についての話をする。

肯定的回答 51%

質問事項10 お子さんは、場に応じてきちんと挨拶ができる。

肯定的回答 73%

質問事項6については、今年度は肯定的な回答は68%でしたが、昨年度より上昇しました。今年度3年生以上でおこなっている自主学習ノートを活用した家庭学習により、与えられた宿題だけでなく、児童自らが足りない学習や興味ある課題に取り組んできた成果であると考えられます。自主学習のさらなる充実や、授業とつながりのある家庭学習になるように工夫をし、子どもたちが進んで家庭でも学習していかれるように学校として取り組んでいきます。ご家庭でも、子どもたちの家庭学習の様子を見ていただき、励ましの声かけをしていただくとありがたいです。

質問事項7については、児童への調査でも肯定的回答が67%と、低い結果になっていました。学校では朝の活動に読書の時間を取り入れたり、国語の時間に本と触れあう機会を意識してとったりしてきました。また、学校図書館司書が中心となり、読書週間・旬間を設定して様々な取り組み（おすすめ本の紹介、お話献立、新着図書の展示、お家で読書、しおりコンテスト、お楽しみ袋等）を企画し、少しでも子どもたちに本の魅力を感じてもらえるように努めてきました。子どもたちが楽しみにしているボランティアさんによる読み聞かせは、残念ながら今年度はコロナ感染予防のため十分にできませんでした。学校でも引き続き読書の機会をとりながら本の世界の魅力に触れるようにしていきます。ご家庭でも親子で読書をするような時間を作っていただければと思います。

質問事項9については、昨年度より肯定的回答の割合は若干増えました。学校では、筑北村をフィールドにした学習を「ふるさと学習」と名付け、今年度から取り組みはじめました。筑北村のことを知ったり、村の中で体験活動をしたり、地域の方と触れあったりすることを通して筑北村の魅力や課題等を学習していきます。この学習は小学校で終わるものではなく、中学校にも引き継がれていきます。そして単に筑北村のことを知るだけでなく、学習を通して自分の将来や生き方を考える機会にもなっていきます。来年度も「ふるさと学習」に力を入れていきます。

質問事項 10 に関しては、80%を少し下回りました。自由記述でも「あいさつをしても友だちに返事をしてもらえないことがあるようです」「うちの子も含め、挨拶ができる子が少ないと感じています」というご意見をいただきました。あいさつは集団生活の基本であり、あいさつを交わすことで相手の気持ちを思いやったり、自尊感情が高まったりすると考えています。また、学級集団づくりの基盤にもなります。学校では、時と場に応じたあいさつができるように全職員が同一歩調で取り組んでいます。ご家庭においても気持ちよいあいさつができるよう声かけをお願いします。

5 自由記述でいただいたご意見について

自由記述欄では、「こども同士の言葉遣いを見直して欲しい」「先生方の子どもに対する言葉遣いが気になりました」という言語環境に関するご意見をいただきました。大人の言葉遣いは子どもたちの言葉遣いに大きく影響してきます。いただいたご意見を真摯に受け止め、不適切な言葉遣いがないように努めていきます。

また、「小学校前の交差点の見通しが悪いので、少し手前に【小学校有り】や【児童横断注意】などめだつような看板の設置をお願いしたい」という安全面に関するご意見もいただきました。村の教育委員会に伝え、すぐに看板を設置していただきました。今後も通学路等で危険箇所等ありましたらご連絡ください。

学習に関して、「通知表をもらうまで子どもの学習の成果がわからないので、テストの結果を持ち帰るなどしていただけるとありがたい」「宿題の確認、間違いを正して欲しいです」というご意見をいただきました。テスト結果の返却をこまめに行ったり、学級便りで学習内容についてお知らせしたり、個別に連絡帳等で学習の様子などを伝えるなどの工夫を考えていきたいと思えます。宿題については担任も休み時間等を使ってできるだけ確認をしていますが、十分に時間がとれないこともご理解いただき、ご家庭でも見ていただけるとありがたいです。

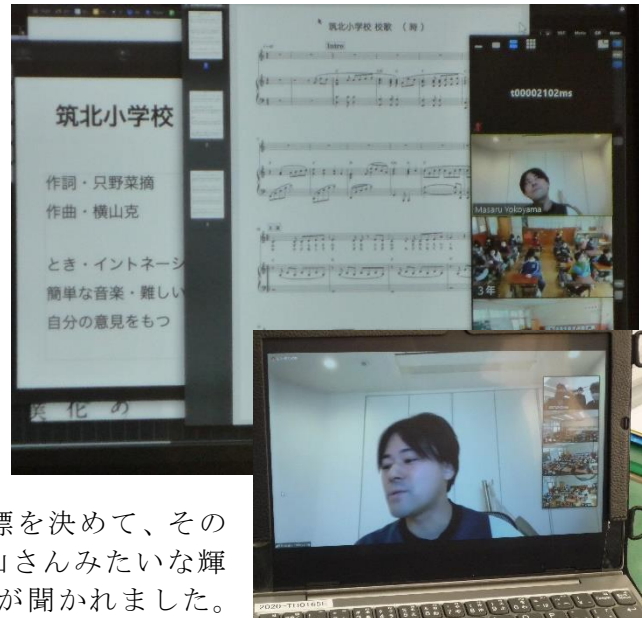
一方で、「統合やコロナありの変化の大きい中で工夫してご指導いただき感謝しております」「校長先生はじめ、先生方が休み時間も遊んでくださりながら関わっていることを子どもからよく聞きます」「いつも子どもに寄り添い、対応していただき、本当に感謝しています」など励ましのご意見をいただきました。学校に対する期待を裏切らないように、今後も教職員一丸となって精一杯教育活動に取り組んでいきます。

今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いします。

「プロに学ぶ」特別授業

2学期に元プロ野球選手の田中健太郎さんによる野球（Tボール）教室が行われましたが、3学期も、2回にわたってプロに学ぶ特別授業を行いました。プロの技術を見たり教わったり話を聞いたりして、様々な場で活躍する人が自分のふるさとや身近にいることを感じ、自分の目標や夢を持ったり、さらに頑張ろうと思ったりするきっかけになればと願っています。

2月9日(水) 作曲家 横山克さん(筑北村出身・校歌の作曲者)によるオンライン講演会



講演会を聞いた児童から「ぼくも自分の目標を決めて、その目標に向けてがんばっていきたい。」「私も横山さんみたいな輝いているすてきな大人になりたい。」などの声が聞かれました。

2月15日(月) フロダンサー「ちびゆり」さん(松本市出身)らによるストリートダンス教室

日本や世界で活躍するプロダンサーの、ちびゆりさん（松本市）CHOPPA→さん（長野市）Azsaさん（松本市）、そしてアナウンサーの西川典孝さん（NHK長野）を招いて、低・中・高学年の3時間、ストリートダンス教室を行いました。（写真は3・4年生の様子）

